



2016年2月22日

各位

東京都 がん対策事業 「がん患者の治療と仕事の両立への優良な取組を行う企業表彰」にて “優良賞”を受賞

中外製薬株式会社〔本社：東京都中央区／代表取締役会長 最高経営責任者：永山 治〕（以下、中外製薬）は、東京都が実施する、平成27年度「がん患者の治療と仕事の両立への優良な取組を行う企業表彰」において、“優良賞”を受賞しました。

本表彰は、東京都のがん対策事業の一環として実施されており、「治療と仕事の両立」の必要性や意義について、社会・企業に広く普及・定着させることを目的としています。また、成果を挙げている取り組みを周知することにより、企業におけるがんをはじめとした傷病をかかえる従業員に対する治療と仕事の両立を推進しています。



中外製薬では、従業員ががんに罹患した場合、療養休暇や私傷病休職を取得することで、雇用の継続を図りながら治療に専念できるよう環境を整えてまいりました。昨年5月には、がん治療の進歩にともない、入院期間が短縮していることや通院治療が可能な事例が増えている状況を考慮し、療養休暇の取得条件を実際の治療環境に沿った内容に改定するとともに、がん治療を受ける従業員への就労支援の内容をまとめた「がんに関する就労支援ハンドブック」を通じて、安心して働くことができる様々な制度を社内に周知しています。

このたびの受賞に際し、代表取締役副会長の上野幹夫は次のように述べています。

「当社では『従業員等の安全の確保は、すべての業務に優先する』という考え方に基づいて、健康管理や安全管理に取り組み、従業員にとって働きがいのある環境づくりを目指しています。がん治療と仕事との両立に関しては社会的にも大きな課題となっており、社内で積極的に取り組みを行うだけでなく、広く社外へ情報発信していくことも、ヘルスケア関連企業としての当社の社会的責務であると捉えています。今後も、従業員がより安心して働くことができるよう、環境整備に力をいれていきたいと思っております。」

中外製薬は、オンコロジー領域の国内トップ製薬企業として、「患者さんが希望をもって前向きに立ち向かえるがん医療の実現」を目指すとともに、従業員へのがん治療に伴う就労環境の整備のさらなる充実を図ってまいります。

以上